

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	漏水調査				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	水道課		包含する細々目	71	2	1	2				
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
施策	45 居住基盤の向上												
実施区分	継続	会計	水道事業	環境調整会議	不要	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	公道分の配水管・給水管等	漏水箇所位置特定調査数(ヶ所)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			15			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	漏水場所を早期に発見することにより、危険防止と有収率向上が図られ、健全経営につながります。	漏水箇所数(ヶ所)	18目標	60	最終目標	
			18実績	25	19目標	15
		23目標		23実績		
		推定漏水量(m3/h)	18目標	20	最終目標	
			18実績	20	19目標	20
23目標				23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	公道部の配水管、消火栓、仕切弁及び給水管、止水栓等の漏水箇所を音聴調査及び漏水箇所位置特定できないものについてはトレイサー式により発見し、修理等に活用します。	漏水修理の箇所の把握及び調査を実施しました。漏水箇所の内、漏水量の多いヶ所についてヘリウムガスを使用して調査しました。	漏水多発地区 旧市内橋北、橋南、東野の各一部 2,019ヶ所	発見箇所 25箇所
	18年度の実績			
	19年度計画	調査の方法と技術の向上、過去の漏水修理の箇所の把握及び調査をします。漏水箇所の内、漏水量の多いヶ所についてヘリウムガスを使用して調査します。	調査箇所数 15ヶ所	発見箇所

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	1,146	1,050
一般財源			
事業費計(A)	1,146	1,050	
人件費	正規職員所要時間	18年度 55	19年度 20
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	197	72
	トータルコストA+B	1,343	1,122

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	有収率の向上により収益の増を図り、道路陥没などの二次的な事故防止と水資源の有効活用	有収率(%) 年間総配水量に対する総有収水量	現状値	83	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		
		現状値		19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標			

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>漏水状況を調査し、水資源の有効利用及び有収率の向上と道路陥没等の事故防止を目的とします。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>漏水は恒常的に発生している。他水道事業体では、配水管から分岐された給水管の漏水により近接の埋設物に大きな被害をもたらす、損害賠償責任を負う判例があり、漏水の早期発見と修理の重要性が高まっています。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>漏水に対する通報は市民から絶えず寄せられています。道路が陥没してから漏水が判明したのでは遅いので、調査による早期発見が求められています。</p>
---	--	--

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	不感知漏水箇所が発見され、漏水修理が行われ、有収率の維持が図られています。	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)		有効性評価 廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) 有収率が低下し浄水場で飲用に供するために要する経費等の損失となる。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由) 無し
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)		効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由) 入札制度をとっており、これ以上の経費節減は不可能
				公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 有収率が下がれば、水道受益者の水道料金の軽減につながる。

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
---	-----------------------------

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	